

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	林 直樹	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	教授
専門分野	経済学史・社会思想史		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	社会思想史、外国書講読Ⅱ、基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰb、専門演習Ⅱa、専門演習Ⅱb、特別演習Ⅳ、特別演習Ⅴ、特別演習Ⅵ、経済学史、日本経済論
大学院	経済学史特論、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、研究指導（論文指導）Ⅰ、研究指導（論文指導）Ⅱ
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）18世紀イングランド啓蒙と経済学：確率思想を軸として	
（2）経済学史・思想史研究へのテキストマイニング技術の応用	
（3）日本および世界の社会経済思想史	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6	〈書評〉 Peopling the World by Charlotte Sussman、単著、マルサス学会年報34号、2025年3月予定 〈書評〉 マンデヴィル(壽里竜訳)『名誉の起源 他三篇』、単著、イギリス哲学研究48号、2025年3月 〈書評〉 シュナイダース(河村克俊・高原英喜・西章訳)『啓蒙の時代』、単著、図書新聞3663号 2024年11月16日 〈書評〉 塚本恭章『経済学の冒険』、単著、尾道市立大学経済情報論集24巻1号、121-24頁、2024年6月 〈発表〉 アダム・スミスとテキストマイニング、アダム・スミスの会第205回例会、2024年11月30日 〈発表〉 アーバスノットからド・モアブルへ：確率統計思想の一文脈、経済学史研究会第265回例会 2024年4月20日
R5	〈論文〉 Binomial Theorem and Social Thought、単著、尾道市立大学経済情報論集23巻2号、 5-12頁、2024年2月 〈論文〉 テキストマイニングで作る人物関連図、単著、尾道市立大学経済情報論集23巻1号、 83-100頁、2023年6月 〈書評〉 野原慎司『人口の経済学：平等の構想と統治をめぐる思想史』、単著、イギリス哲学研究47号、 2024年3月予定 〈発表〉 Adam Smith on Textmining、International Adam Smith Society Tokyo Conference、 2024年3月12日 〈発表〉 Binomial Theorem and Social Thought、Research Conference among NCYU and OCU、 2023年8月24日
R4	〈論文〉 バイズ「偶然論における一問題の解法」(2)、単著、尾道市立大学経済情報論集22巻1号、 35-78頁、2022年6月 〈事典〉 イングランド啓蒙、単著、『啓蒙思想の百科事典』丸善出版、102-103頁、2023年1月
R3以前の主な研究業績	
（1）〈著書〉 デフォーとイングランド啓蒙、単著、京都大学学術出版会、2012年6月	
（2）〈論文〉 ミシシッピ・バブル後のブリテン：ジョン・ロー来訪をめぐる信用論争、単著、 坂本達哉・長尾伸一編『徳・商業・文明社会』京都大学学術出版会、2015年3月	
（3）〈論文〉 社会思想史研究とテキストマイニング、単著、愛知学院大学論叢、経済学研究9巻2号、 107-126頁、2022年3月	
（4）〈論文〉 「ウッズの半ペンス」再考、単著・査読有、マルサス学会年報28号、35-65頁、2019年3月	
（5）〈翻訳〉 ロバートソン『啓蒙とはなにか』白水社、野原慎司との共訳、2019年3月	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
経済学史学会（幹事、兼、大会組織委員【任期2023.04-2025.03】）、社会思想史学会、日本イギリス哲学学会、マルサス学会、経済社会学会、史学会、中四国商経学会、International Adam Smith Society	

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	林 直樹	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	教授
専門分野	経済学史・社会思想史		

IV 社会活動			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道映画祭実行委員会	委員	10回